

かがやき

診療部門 1階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
総合診療科	1診	岡本	岡本		中園	高沢
	2診	松本 (沼田/安部)	森元 (二宮)	太田 (花田/松本)	小南 (井上)	足立 (内立)
リウマチ・膠原病科	3診	河島	河島		河島	河島

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
整形外科	1診	中村	新本	西川	石田	曾田
	2診	西川	石田	生田	曾田	中村
	3診					新本

診療科目	診療室	月	火	水	木	金	
放射線科	午前	1診	影本	影本	伊東	伊東	影本
		2診	岡部	浦島	岡部	浦島	浦島
	午後	1診	岡部	影本	伊東	伊東	影本
		2診	浦島		松浦(範)		松浦(範)

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
緩和ケア	午後 1診		緩和ケアチーム 担当医師			

診療部門 2階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
外科	1診	塩崎	二宮	大野	塩崎	二宮
	2診	原野	小島	西崎	丁田	松川

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
皮膚科	4診		江草	江草	江草	
	5診	内藤	内藤(初診)	内藤	内藤(初診)	内藤
	6診	戸井(初診)	戸井	戸井(初診)	戸井	戸井(初診)

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
内科	1診	中川	荒木	石田	水野	荒木
	2診	岩堂	大江	岡本	植松	平尾
	3診			小川		
	4診	中園	高沢	山崎		山崎
	初診	荒木	山崎	水野	中川	石田
	7診	野田	野田			野田
	8診		水木	武本	渡邊	
	9診	水木	望月	望月	水木	望月

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
呼吸器内科	1診	親川	岩本 (午後腫瘍内科)	北口		福田

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
呼吸器外科	1診	松浦		松浦	片岡	藤原

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
循環器内科	初診/PM外来	大谷/池永	井上	石原	大谷/臺	河越
	1診	井上	嶋谷	河越	井上	臺
	2診/ ICD,CRT外来	石原	三浦	池永	嶋谷/嶋谷	中間

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
心臓血管外科	1診	柚木	大庭	毛利	久持	吉田

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
歯科 歯科口腔外科	初診	中野	澤木	大杉	佐藤	澤木(1.3.5週) 大杉(2.4週)
		澤木	中野	澤木(午前)	澤木	中野
		大杉(午前)	澤木	大杉	大杉	澤木
	再診	合田	大杉	合田	合田	大杉
		佐藤	合田	佐藤(午後)	佐藤	合田(午後)
		院内口腔ケア	大杉	澤木・佐藤	澤木	大杉(1.3.5週) 合田(2.4週)
専門外来	インプラント外来		インプラント外来	インプラント外来	顎関節・口蓋床外来 (澤木)	

木曜日午前中は全麻手術の為、予約出来ない場合があります。

診療部門 3階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金	
眼科	午前	1診	原		原		
		2診	寺田	寺田	橋本		寺田
		3診	細川	細川			細川
	午後	予約検査	手術	予約検査	手術	予約検査	

診療科目	診療室	月	火	水	木	金	
耳鼻科 頭頸科	初診	1診	井口 14:00~ 江草(1.3.5週) 銅前(2.4週)	江草	綾田	花川	銅前
		2診	綾田	花川(2.4週) 銅前(1.3.5週)	江草	井口	綾田(2.4週) 江草(1.3.5週)
		3診	花川		銅前 (2.4週午前中) 井口 (2.4週14:00~)		

診療科目	診療室	月	火	水	木	金	
形成外科	午前	1診	身原	木村	増田	身原	木村
		2診		増田		増田	高田
		3診		身原			高田
午後		レーザー 言語外来	義眼外来	レーザー			

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
小児科 循環器小児科 小児外科	1診	伊豫田	安井	伊豫田	越智	安井
	2診	越智	小川	坂田	小川	伊豫田
	3診 (循環器 小児科)	鎌田	石口 (1.3.5週) 中野 (2.4週)	鎌田	中川	栗田
	4診 (小児外科) 新生児	秋山 林谷	手術 西村	今治 林谷	担当医 前野	手術 野村

診療部門 4階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
産婦人科	1診	小坂	野間	吉田	石田	吉田
	2診	野間	舛本	早田	依光	小松
	午後予約		検査		検査	三村
	3診	石原	辰本	岡田	西川	小坂
	午後予約	関野				
	5診	石田	早田	舛本	小松	依光
午後予約		小松	辰本	早田		

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
乳腺外科	1診	檜垣	大谷	伊藤	大谷	檜垣
	2診	伊藤				

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
脳神経外科	予約 1診	西野	村岡	目黒	寺田	田邊(初再診)
	初再診 2診	寺田	目黒	廣常	西野	廣常(予約)

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
泌尿器科	初診 1診	三枝	黒瀬	西村	村尾	江原
	再診 2診	村尾	江原	黒瀬	三枝	西村

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
神経内科	1診	郡山	上利	郡山	田路	上利
	2診	田路	松岡	上利	松岡	郡山
	3診	松岡	田中	田路	田中	田中

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
精神科	4診	撰	森田	和田	撰	和田
	5診	和田	撰	森田	三船	森田
	6診		三船	中岡	中岡	中岡

各診療日の担当医師につきましては、医師の異動等により変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

外来診療のご案内

診療受付時間 ----- 休診日 ----- 紹介状持参のお願い -----

午前8時30分～午前11時00分
*【眼科】火・木曜日 午前10時00分まで

土曜日、日曜日、祝祭日、8月6日、
年末年始(12月29日～1月3日)

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか1,570円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

病院で働く職種をご存じですか



副院長 荒木 康之

広島市民病院でどれくらいの職種の人が働いていると思われますか。どの仕事でも、たくさんの人が協力してなっています。その中でも、病院は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、検査技師をはじめ、たくさんの専門職が協力して患者さんの診断・治療にあたっている組織です。

たとえば、みなさんが受診して帰られるまでを想像してみてください。外来窓口で事務職員が受付、診察室で医師が診察、X線検査が必要なら、診療放射線技師、採血検査、心電図検査などをすれば、臨床検査技師が検査にあたります。そして、医師が結果説明して、入院が必要なら、看護師が説明、診察室では診療アシスタントが医師の補助をしています。薬が処方されれば、薬剤師が薬の内容をチェック、会計窓口で事務職員が精算します。

入院されれば、さらに多くの職種が関与して患者さんの診断、治療にあたっています。主治医

以外に、他の診療科の医師が診察することも多く、普段は看護師が病状の把握にあたり、食事は栄養士が管理、リハビリは理学療法士、作業療法士が、退院後の生活についてはソーシャルワーカー、在宅支援室のスタッフが担当しています。カルテの管理は診療録管理士が担当、精神科には心理療法士、眼科には視能訓練士、耳鼻科には言語聴覚士、歯科には歯科衛生士、歯科技工士、人工腎臓センター、手術室には臨床工学技士がいます。実は、警備、清掃、給食、医療事務などたくさんの委託の方も働いています。多職種の協力で病気の治療が可能になっています。

さらに言うと、患者さんの治療には、患者さん本人、そして患者さんの家族が最も重要なメンバーです。当たり前ですが、患者さんや家族の理解と協力がなければよい治療はできません。そして、われわれ医療者は、患者さんに理解してもらえる説明が必要です。患者さんや家族が医療に参加し、医療者同士がよい連携をして初めてよい治療ができるのです。

みんなで医療に参加しませんか。

基本理念

広島市の中核病院として、患者さんの立場を尊重し、質の高い医療を提供します。

～基本理念実現のための3つの柱～

1. 患者さんの立場を尊重し、信頼され満足される医療を提供します。
2. 地域医療機関との連携のもとに、急性期医療を中心に高度な医療を提供します。
3. 健全な病院運営に努め、良質で安全な医療を提供します。

患者さんの権利に関する宣言とお願い

広島市立広島市民病院は、信頼され満足される医療を提供するため、次のような患者さんの権利を尊重します。

1. あなたには、個人として尊重される権利があります。
2. あなたには、良質で適切な医療を平等に受ける権利があります。
3. あなたには、診療に関して十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. あなたには、自分自身の治療などについて、自分の意見を述べ、自ら決定する権利があります。
5. あなたには、当院での医療に関するプライバシーを保護される権利があります。

これらの権利を守り、より良い医療を実現するには、患者さんと医療提供者とが力を合わせて取り組むことが必要です。そのために、患者さんも積極的に医療に参加・協力する責任があることをご理解のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

小児外科

小児外科は、こどもの外科疾患の専門診療科として、こどもにやさしく、そして最善の医療を外来と入院診療で提供しています。



小児は成人のミニチュアではない

小児外科は、小児（新生児も含めて）の外科的疾患（頭部、骨、心臓以外）を主に治療する診療科です。小児は成人のミニチュアではなく、小児では小児あるいは新生児独特の生理的な特徴があり、また小児はこれから成長発達していく過程にあることも重要な視点です。このことを十分に理解し、子どもの将来を見据えて、子どもの幸福を願って最善の治療をするように心がけています。

小児外科で扱う疾患

小児外科では次のような病気の診療をします。

新生児疾患	食道や腸が生まれつき詰まっていて、食べ物が通らない病気。肛門がないなどの奇形。 例えば、食道閉鎖症、腸閉鎖症、鎖肛など。
腹部疾患	小児の俗に言う、「脱腸」や「盲腸」。便の出が悪くお腹が張る病気。胆汁の流れが悪く黄疸（体や眼が黄色い）が続く病気。 例えば、ソケイヘルニア、急性虫垂炎、ヒルシュスプリング氏病、胃食道逆流症、胆道閉鎖症、胆道拡張症など。
泌尿器疾患	腎臓がはれている病気。尿の出口が異常な病気。睾丸が降りていない。 例えば、水腎症、尿道下裂、停留精巣、膀胱尿管逆流症など。
胸部疾患	胸や肺の生まれつきの奇形。 例えば、横隔膜ヘルニア、肺嚢胞、肺分画症、漏斗胸など。
腫瘍	首や胸の中やお腹の中にできた異常な塊。 例えば、正中顆嚢腫、側頭嚢腫、神経芽細胞腫、肝芽腫、ウィルムス腫瘍、奇形腫、卵巣嚢腫、リンパ管腫、ポリープなど。

上記疾患を幅広く取り扱っています。

当科の年間の入院症例数は450～500例、手術症例は350～400例です。

当科の特徴

- 当院は2006年12月に広島県の総合周産期母子医療センターに指定され、当科もその一翼を担っており、産科や新生児科と協力して、新生児外科的疾患の治療にあたっています。（年間新生児症例は35～45症例、新生児手術症例は25～35症例）
- 小児では外性器、膀胱、尿管、腎臓などの泌尿器疾患が、予想外に多いのですが、しかし小児泌尿器疾患に造詣が深くかつ経験のある病院は少ないのが現状です。当科には小児泌尿器科学会認定医がおり、小児専用の膀胱鏡も用意して、多くの小児泌尿器疾患に対応しています。
- 小児外科の中心はやはり腹部疾患で、急性腹症から便秘まで多岐にわたっています。その中でも当科には小児肝臓移植の経験のある医師がおり、肝臓移植が必要な症例に対しては、小児の肝臓移植が可能な施設に紹介し、その後のフォローアップを行うなど、小児の肝胆道疾患に対して精力的に診療を行っています。



左から、橋本医員、今治部長、秋山主任部長、向井医員

当科の
目標

未来のある子どもに、やさしく、そして最善の医療を!!!

看護部

シリーズ 病棟紹介 東7A病棟



ネイルアートで女性らしい癒しを

東7A病棟は、婦人科と乳腺外科を主体とする女性病棟です。

女性特有の疾患による身体の変化に対して、同じ女性として共感し、寄り添える援助を心掛けています。季節毎に行っているイベントでは、より多くの患者さん楽しんで頂けるよう「ネイルアート」を取り入れてみ



ました。患者さんは、闘病生活により忘れかけていた女性らしいおしゃれ感覚を呼び戻し、病気の苦しみから解放されたひとときを過ごすことが出来て大変喜んで下さいました。これからも、いろいろな工夫を取り入れて、女性らしい癒しの看護サービスを行っていきたいと思っています。



事務室医事係

事務室医事係では、①医事担当②入院担当③外来担当で役割分担を行い、医療従事者のバックアップを行い、円滑で、よりよい病院運営が行われるよう業務に取り組んでおります。

医事担当では、医事統計、診療報酬その他の収入のとりまとめ、医療費未収金の督促等を行っています。

入院担当では、入院診療費の計算、請求などを行っています。平成20年度から導入しましたDPC（診断群分類別包括請求制度）については、関係者にも理解いただき、円滑な

請求業務が進められております。

外来担当では、患者さんの初診受付・案内、再来・再診受付、外来診療費の計算・請求などを行っています。近年、医師の過重労働が大きな社会問題になっており、医師の負担軽減の必要性が叫ばれている中で、平成21年3月から医師事務作業補助者（メディカル・クラーク）を配置して、当院医師の負担軽減を図る取組も積極的に行っているところです。

今年度は2年に1回の医療費改定の年に当たりますが、今回の改定の中で重点が置かれているものの中には、救急医療、産科・小児医療、地域医療連携など、当院がこれまで力を注いできたものが数多くあります。院内で十分に情報交換、連携をとりながら、広島市の中核病院として、より一層機能の充実に努められるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

